

事業シート(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_1

事業名	20500 表彰事務費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野		市長公約	
						款	2	総務費		個別分野			
						項	1	総務管理費		施策概要			
						目	5	広報費		根拠計画			
担当課	総務部 広報情報課	内線	2442										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市政の進展に寄与された方々の功績を称え、表彰された方々の意識の高揚や地域の活性化を図る。	概要	・表彰式の開催
----	---	----	---------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		10,097	9,226	3,300	3,301	△ 6,072
特定財源	国費 ()					
	県費 (市制施行80周年記念事業費)		430			
	その他()					
一般財源		10,097	8,796	3,300	3,301	△ 5,642
個票枝番	主な事業内容					
	表彰事務費	900	1,056	3,300	3,301	2,098
	市制施行80周年記念式典	9,197	8,170			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・市制施行80周年記念式典(11月1日)を実施し、第1部では118人12団体を表彰した。第2部では歌謡、作文、ポスター部門で小中学生25名、1クラスを表彰し、小学校5年生を含む約1,000人が参加した。
評価等	・市制施行80周年記念式典では、第1部で表彰式、第2部では次世代を担う小学生を対象とした「未来の高山」ふるさとを語ると題して表彰、対談、合唱等を実施し、郷土への関心を高めるとともに願いを共有することで、市が持続していくための礎をつくることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・市表彰式(11月1日)を実施し、83人1団体を表彰した。
評価等	・市政の発展等に尽力された方々の功績を称え表彰することができた。 ・市民と行政のパートナーシップの構築や各種団体のモチベーションの維持向上等に繋がっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、該当者の把握と適切な運用を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	－
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,300	3,300	3,300	0
3,300	3,300	3,300	0
査定額	説明		
3,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	・市表彰式の開催や自治功労者等葬儀時の対応などに関する経費を計上

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

05_広報情報課.xlsx_1

20500

事業シート(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_2

事業名	20510	広報広聴事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約	・開かれた市政の強化に積極的に取り組み、「市民の皆さまの思いと声」を市政に活かします。
				款	2	総務費		個別分野	1	協働		
				項	1	総務管理費		施策概要	3	市民と情報共有の推進		
				目	5	広報費		根拠計画				
担当課	総務部	広報情報課、企画部	企画課	内線	2468							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができるようにする。 ・市政運営への理解を深め、行政との信頼関係を構築する。 ・市政に対する意見を容易に述べられるようにする。	概要	・広報紙や地域FM放送、CATV放送により各種行政情報を提供する。 ・「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く。
----	--	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		106,177	103,566	95,474	95,473	94,768
特定財源	国費 ()					
	県費 (映像制作事業費)		1,900			
	その他(広告事業雑入)	280	72	280	280	80
一般財源		105,897	101,594	95,194	95,193	94,688
個票枝番	主な事業内容					
	広報たかやま発行	42,123	41,898	41,200	41,200	40,928
	CATV、ラジオ番組制作等	53,672	51,724	53,850	53,849	53,646
	政策検討市民委員会による政策提言	158	158	200	200	120
	市制施行80周年関連広報	6,100	5,832			
	自治体PR映像制作(市制施行80周年記念事業)	3,900	3,818			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・広報紙を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 ・地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 ・サイマルラジオ放送による市政情報の配信 ・CATV放送にて「ハイ、市役所です」「週刊高山ニュース」などを制作・放送 ・市内各地域で市民と市長の対話集会を開催(12回、436人参加) ・政策検討市民委員会を開催(10回開催、中間報告を受理) ・市制施行80周年を記念した特別番組の放送、ラッピング新聞の発行、地域情報誌への情報掲載 ・市制施行80周年を記念した自治体PR映像を制作「時をこえて大切なもの」
評価等	・市制施行80周年や日本遺産認定、ユネスコ無形文化遺産の登録など、市民にお知らせすべき重要な情報をさまざまな媒体を通じて発信することができた。 ・市民が「知りたい情報や市が伝えなければならない情報を分かりやすく提供していく必要がある。 ・多くの市民の参画を得て、思いの詰まった自治体PR映像の制作ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H28完了 ☐H29完了予定 ・引き続き時代や市民のニーズにあった広報の手法について検討していく。

4.平成30年度予算編成(Action) (千円)

H30		実施計画額	95,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)ー(c)
95,198	95,274	95,274	△ 200
288	280	280	0
94,910	94,994	94,994	△ 200
査定額	説明		
41,200			
53,850			

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
市ホームページ(行政情報)へのアクセス件数(年間)	412万件	402万件	470万件
パブリックコメントに寄せられた意見数(年間)	138件	46件	150件

4.平成30年度予算編成(Action) (千円)

H30		実施計画額	95,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)ー(c)
95,198	95,274	95,274	△ 200
288	280	280	0
94,910	94,994	94,994	△ 200
査定額	説明		
41,200			
53,850			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・広報紙を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 ・地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 ・サイマルラジオ放送による市政情報の配信 ・CATV放送にて「ハイ、市役所です」「週刊高山ニュース」などを制作・放送 ・無料広報アプリ「マタイロ」を導入し、電子媒体で情報を発信 ・市内各地域で市民と市長の対話集会を開催(13回、442人参加) ・政策検討市民委員会を開催(10回開催、5分野27項目の提言を受理)
評価等	・多様な媒体を活用し、市の施策や市民生活に役立つ情報等を積極的に発信した。 ・市民と市長の対話集会を開催し、まちづくりにおける地域課題等を情報共有できた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒維持・改善 ☐拡大 ☐縮小 ☐廃止検討 ☐H29完了 ☐H30完了予定 ・引き続き、時代や市民のニーズにあった広報・広聴の手法について検討していく。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・市民が知りたい情報を迅速に得ることができるよう、広報紙やFMラジオ、CATVなどの媒体から情報発信するための経費を計上 ・FMラジオやCATVの市政番組については、市の主要施策の取り組みなど、市政情報を分かりやすく提供する。

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

05_広報情報課.xlsx_2

事業シート(平成29年度決算)

05_広情報報課.xlsx_3

事業名	20910 飛騨高山応援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・観光産業に関わる団体や企業などが進める「おもてなし」の高度化事業や活動 に対しての支援策を充実します。
					款	2	総務費		個別分野	1	観光		
					項	1	総務管理費		施策概要	1	地域の魅力が伝わる観光地づくり		
					目	9	企画費		根拠計画				
担当課	総務部 広報情報課		内線	2442									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・観光客や移住者の増加及び地場産品の消費拡大等を図る。	概要	・会員の増加を狙い、効果的な広告等を実施する。 ・観光案内などの各種情報を提供する。 ・市内視察や交流会を実施する。 ・広く市に対する意見を聴取する。
----	-----------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	増減 (b)-(a)
		2,400	2,088	2,400	2,400	15
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)		970	1,000	1,000	430
一般財源		2,400	1,118	1,400	1,400	△ 415
個票枝番	主な事業内容					
	飛騨高山「めでたの会」のPR	2,080	1,909	2,000	2,000	△ 87
	特別会員市内見学会、意見交換会	320	179	400	400	102
	飛騨高山「めでたの会」会員交流会					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	2,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d) -(c)
3,317	3,000	3,000	600
	900	900	△ 100
3,317	2,100	2,100	700
査定額	説明		
2,000			
400			
600	サポート会員交流会		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・会員募集のためチラシ、フェイスブック広告、CM放送等を実施 ・特別会員を対象とした市内見学会を2回実施 ・特別会員やサポート会員に施設優待券付きの名刺や会報誌等を配付 ・フェイスブックによる各種情報発信の実施 ・特別会員53名、サポート会員51名、一般会員4,728名 計4,832名	
評価等	・高山の魅力が伝わるようにSNSを活用し、会員数の増加を図った。 ・会員の意見を「めでたの会」の活動や市の施策に活かすなど、会員との交流を深めて行く必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・市の魅力が伝わるようにSNSを活用した情報発信を行う。 ・会員からの意見や活用等について検討する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・会員募集のためチラシ、フェイスブック広告等を実施 ・特別会員を対象とした市内見学会を2回実施 ・特別会員やサポート会員に施設優待券付きの名刺や会報誌等を配付 ・フェイスブックによる各種情報発信の実施 ・特別会員65名、サポート会員86名、一般会員15,480名 計15,631名	
評価等	・SNS等を活用し高山の魅力を発信することで、会員数の増加を図った。 ・特別会員を対象に実施している市内見学会は、会員相互の親交を深めるとともに、地域の取り組みや課題を知ってもらい、意見をいただく機会になっている。 ・サポート会員の意見を「めでたの会」の活動や市の施策などに活かすため、会員及び会員相互の交流を深めていく必要がある。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、SNS等で市の魅力を発信し、会員の増加を図る。 ・方面別の交流会を開催し、会員同士の交流を深め市への思いを共有することで応援の機運を高める。また、市に対する思いや意見を広く聴き、市の施策へ繋げる。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山「めでたの会」の会の運営に必要な経費を計上 ・会員募集や会員活動の推進

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 飛騨高山めでたの会交流会(東京、名古屋、大阪)開催経費を計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

05_広情報報課.xlsx_3

事業シート(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_4

事業名	21400	行政事務電算化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・CATV(ケーブルテレビ)の普及促進、Wi- Fi環境や公衆無線LANの整備・充実を進め、誰もが情報や行政サービスを気軽に得ることができる環境を構築します。
				款	2	総務費		個別分野	6	情報		
				項	1	総務管理費		施策概要	3	電子市役所の推進		
				目	14	情報化推進費		根拠計画				
担当課	総務部 広報情報課		内線	2457								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・全市民が情報通信技術を活用した利便性を享受できるようにする。 ・職員が効率的に市の業務を行えるようにする。 ・専門事業者への電算処理業務の委託により、正確な内容で各種通知書が市民等へ届くようにする。	概要	・電算システム及びネットワークの整備、維持管理、効果的な運用を実施する。 ・市税賦課や納税通知書の帳票印刷などの行政事務の電算処理を外部へ委託する。
----	--	----	---

総合計画等	主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		414,915	398,332	377,045	377,045	364,066	△ 34,266
特定財源	国費 (社会保障・税番号制度関連システム整備事業費 2/3、10/10等)	16,700	16,068	5,100	5,100	7,535	△ 8,533
	県費 (多言語ホームページ再構築事業費 1/2)					5,200	5,200
	その他(広告事業雑入、事務所等使用雑入 等)	2,250	3,652	11,130	11,130	12,959	9,307
一般財源		395,965	378,612	360,815	360,815	338,372	△ 40,240
個票枝番	主な事業内容						
	情報システム運用・改修、電算化推進、情報セキュリティ対策	241,260	231,535	179,510	179,510	175,849	△ 55,686
	機器保守、機器借上	101,000	99,375	103,600	103,600	99,874	499
	電算処理委託	57,000	52,049	57,000	57,000	53,510	1,461
	情報システム負担金	15,655	15,373	15,425	15,425	14,429	△ 944
◎ 1	市多言語ホームページ再構築			20,000	20,000	18,900	18,900
◎ 2	県情報セキュリティクラウド運営費負担金			1,510	1,510	1,504	1,504
	電子母子手帳の導入						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・電算システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、電算システムの維持管理 ・社会保障・税番号制度の情報連携に向けたシステムの総合運用テスト ・市税、軽自動車税、保育料、廃棄物処理料等の納税通知書、固定資産課税台帳等の異動処理、選挙人名簿帳票、課税台帳、各種受給者証等の印刷、封入封緘作業などの業務委託 ・市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供 ・情報セキュリティ強化対策システムの導入
評価等	・システム更新の際は、個別のシステムを仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る必要がある。 ・電算システム機器の維持管理の外部委託について、業務の効率化や費用対効果を踏まえながら検討する。 ・行政事務の電算処理については、更なるコスト縮減のため、委託事務処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き情報セキュリティ強化に努めるとともに、計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・電算システムのソフト保守及び機器保守、機器賃貸借、電算システムの維持管理 ・社会保障・税番号制度の情報連携 ・市税、軽自動車税、保育料、廃棄物処理料等の納税通知書、固定資産課税台帳等の異動処理、選挙人名簿帳票、課税台帳、各種受給者証等の印刷、封入封緘作業などの業務委託 ・市ホームページやメール配信による各種行政情報の提供 ・情報セキュリティ強化対策システムの運用
評価等	・システム更新の際は、個別のシステムを仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る必要がある。 ・電算システム機器の維持管理の外部委託について、業務の効率化や費用対効果を踏まえながら検討する。 ・行政事務の電算処理については、更なるコスト縮減のため、委託事務処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き情報セキュリティ強化に努めるとともに、計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。

05_広報情報課.xlsx_4

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	367,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d) -(c)
391,026	379,495	379,495	2,450
9,913	9,800	9,800	4,700
4,991	4,970	4,970	△ 6,160
376,122	364,725	364,725	3,910
査定額	説明		
198,550			
103,000			
56,000			
19,435			
2,010			
500			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・情報セキュリティ対策の徹底 ・情報システムの適切な維持管理

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・新元号やマイナンバー旧氏併記など情報システム改修費を計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_5

事業名	21400行政事務電算化推進事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	海外戦略部 海外戦略課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1市多言語ホームページ再構築		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2418
			☐			目	14	情報化推進費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・誰にも利用しやすいアクセシビリティに対応した多言語サイトの再構築およびセキュリティ対策の強化	概要	・多言語ホームページの全面リニューアル(デザイン、内容等) ・市公式ホームページが格納されているサーバーへの移行
----	---	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・市多言語ホームページ再構築業務委託	
対前年度増減額(当初予算)		20,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	20,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	20,000
決算額		18,900
対前年度増減額(決算)		18,900

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業内容]		
・市多言語ホームページの再構築 一式		
[スケジュール]		
・H29年12月 契約 ・H30年3月 ホームページ再構築完了・公開		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
・市多言語ホームページの再構築 一式		
[評価]		
・デザインを一新し、誰にも利用しやすいアクセシビリティに対応した多言語サイトとなった。4月以降の総ページビュー、訪問者数は昨年度の同月と比較し、約2倍に伸びており、再構築したことによる効果が見られる。		
総ページビュー 訪問数		
2017年4月	53,493	41,006
2018年4月	102,558	83,312
2017年5月 43,335 34,208		
2018年5月	83,136	68,012
2017年6月 39,252 30,860		
2018年6月	72,869	58,915
・市公式ホームページが格納されているサーバーへ移行したことにより、セキュリティ水準のアップが図られた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・H29年度整備完了	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

事業実績、評価等		
[事業内容]		
・市多言語ホームページの再構築 一式		
[評価]		
・デザインを一新し、誰にも利用しやすいアクセシビリティに対応した多言語サイトとなった。4月以降の総ページビュー、訪問者数は昨年度の同月と比較し、約2倍に伸びており、再構築したことによる効果が見られる。		
総ページビュー 訪問数		
2017年4月	53,493	41,006
2018年4月	102,558	83,312
2017年5月 43,335 34,208		
2018年5月	83,136	68,012
2017年6月 39,252 30,860		
2018年6月	72,869	58,915
・市公式ホームページが格納されているサーバーへ移行したことにより、セキュリティ水準のアップが図られた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・H29年度整備完了	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
[スケジュール]		

主要事業個票(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_6

事業名	21400	行政事務電算化推進事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	総務部 広報情報課	
				☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費			
枝番・内容	2	県情報セキュリティクラウド運営費負担金		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2457	
				☐			目	14	情報化推進費	作成年月	H30.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・外部ネットワークを経由した攻撃から行政機関の保持する機密情報及び個人情報を保護し、県民が信頼できる行政機関のネットワーク利用を実現すること。	概要	・総務省提示の情報セキュリティ水準を担保するため、県内の全自治体がインターネットへの接続口を一つに集約し、県と市町村が共同して高度なセキュリティ監視を行う「岐阜県情報セキュリティクラウド」の運営費を、県及び県内全市町村で負担するもの。
----	---	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	
	補正等	
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	1,510
主な経費	・県情報セキュリティクラウド運営費負担金	
対前年度増減額(当初予算)		1,510

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	1,510
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,510
決算額		1,504
対前年度増減額(決算)		1,504

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	2,010
主な経費	・県情報セキュリティクラウド運営費負担金	
対前年度増減額(当初予算)		500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業内容]		
・県情報セキュリティクラウド運営費負担金		
[スケジュール]		
・H29年7月 県情報セキュリティクラウドへの接続		
次年度以降の考え方(担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
・県情報セキュリティクラウド運営費負担金		
[評価]		
・外部ネットワーク経由の攻撃を抑え、不正な通信の常時監視等により、情報セキュリティレベルを維持向上することができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・継続した情報セキュリティの確保	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業実績、評価等		
[事業内容]		
・県情報セキュリティクラウド運営費負担金		
[評価]		
・外部ネットワーク経由の攻撃を抑え、不正な通信の常時監視等により、情報セキュリティレベルを維持向上することができた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・継続した情報セキュリティの確保	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
・県情報セキュリティクラウド運営費負担金		
[スケジュール]		
・県情報セキュリティクラウドへ常時接続		

事業シート(平成29年度決算)

05_広報情報課.xlsx_7

事業名	21410 情報施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・CATV(ケーブルテレビ)の普及促進、Wi- F環境や公衆無線LANの整備・充実を進め、誰もが情報や行政サービスを気軽に得ることができる環境を構築します。
			款	2	総務費		個別分野	6	情報		
			項	1	総務管理費		施策概要	1	地域情報格差の解消		
			目	14	情報化推進費		根拠計画				
担当課	総務部 広報情報課	内線	2457								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・超高速ブロードバンド通信網などの情報通信基盤の整備促進により、地域における情報格差を解消し、市民が快適に利用できるようにする。	概要	・民間業者が整備する情報通信基盤整備への助成等
----	--	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
CATV(ケーブルテレビ)利用可能世帯率	99.9%	99.9%	100%
超高速ブロードバンド利用可能世帯率	99.9%	99.9%	100%
「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じている市民の割合	73.8%	77.0%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		42,325	18,610	6,300	29,430	26,142
特定財源	国費 ()					
	県費 (情報通信設備整備事業費 1/2)	16,000	0	0	16,000	16,000
	その他()					
一般財源		26,325	18,610	6,300	13,430	10,142
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	高地トレーニングエリアの通信環境整備 (H28→H29繰越)	36,800	13,782	0	23,130	21,471
	情報通信基盤 (CATV) 整備に対する助成 等	5,525	4,828	6,300	6,300	4,671

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・公共施設へのCATV整備を行った。(市営住宅等 51戸) ・高地トレーニングエリアの通信環境整備は一部を次年度へ繰越
評価等	・引き続き未整備地域への情報通信基盤の整備に対して支援することによりCATVサービスの地域格差解消を図る。
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☒ H29完了予定 ・中野地区(荘川)へのCATV整備に対して支援することにより、CATVサービスの地域格差解消を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・高地トレーニングエリアの通信環境整備 (H28繰越事業) 日和田ハイランド陸上競技場～胡桃島キャンプ場間に光ケーブルを整備 光ケーブル整備 L=11.5km (H29 3.1km、H28 8.4km) ・情報通信基盤 (CATV) 整備に対する助成 荘川町中野地区 光ケーブル整備 L=2km
評価等	・高地トレーニングエリア及び荘川町中野地区における通信環境整備を完了した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・H29年度整備完了 ☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☒ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	0
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)ー(c)
0	0	0	△ 6,300
0	0	0	△ 6,300
査定額	説明		
0			
0			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	
市長査定 の考え方	

05_広報情報課.xlsx_7